

大釜南自治会

観光資源あふれる大釜南自治会

八幡館山遺跡や大釜館遺跡という壮大な観光資源を生かしながら、役員と住民が一体となり様々な活動を展開している。JR 大釜駅や東北自動車道盛岡インターチェンジに近隣するという特徴から、滝沢市の南玄関口となっている。

交通安全活動の功績

平成 29 年 1 月 20 日東京都文京区の文京シビックホールで開催された「第 57 回交通安全国民運動中央大会」において、大釜南自治会交通安全部が活動している、盛岡交通安全協会大釜南分会が、「全日本交通安全優良団体表彰」を受賞。評価事由は「多年にわたり交通事故防止のために尽力し、交通秩序の確立に貢献された功績は多大である」というもの。大釜南分会は昭和 32 年 4 月に設立以降、交通事故防止啓蒙の寸劇活動や高齢者交通マナーアップビデオの作成、青色回転灯車両パトロール、土日ジャンボ市のお客様への交通安全パンフレットの配布等、一般的な見守り活動に加え様々な工夫で交通事故の予防に努めてきた。この表彰を励みに、なお一層交通安全普及に努力していきたいと決意を新たにしたい。



大釜駐在所員と自治会役員で事故多発交差点に注意標識を設置

福祉活動の強化

昨今、隣近所の結びつきが希薄になっていることから、高齢化社会に伴う福祉活動や災害弱者に

対する支援が必要となっている。そのために地域福祉ゆいづくり事業として、一人暮らし高齢者への見守りパトロールや雪かきボランティア『スノーバスターズ』のほか、毎週火曜日に『いきいき百歳体操』を実施している。百歳体操は地域の方が個人で行っていたものを令和 3 年度に自治会で援助する形となった。これらの活動を行うことで、地区内の交流が活発になり、住民同士のつながりがより深まることを期待している。



いきいき百歳体操で健康寿命の延伸と交流を深める住民

地域の課題を解決するために

年々自治会活動に参加する住民が減少していることや役員のなり手不足、現役員の高齢化と固定化が現在の課題となっている。このままでは将来的に自治会運営が成り立たなくなる恐れがあることから、自治会運営に対する会員ニーズ等を把握するためアンケート調査を実施。班長を対象に今後の自治会運営に対してや役員の選出について、自由回答での要望も含め、たくさんの意見が集まった。アンケートの集計結果は自治会だよりを通して住民に周知（令和 3 年 9 月 15 日号）。課題を整理し、会員の自発的な役員参加を期待すると共に、今後も持続可能な安定した運営ができるよう方向性を見出していきたい。



左から竹鼻則雄氏(副会長)、田沼一男氏(副会長)、武田修氏(自治会長)、取材時撮影